

NHK SPECIAL スペシャル

2030 未来への分岐点 第5回

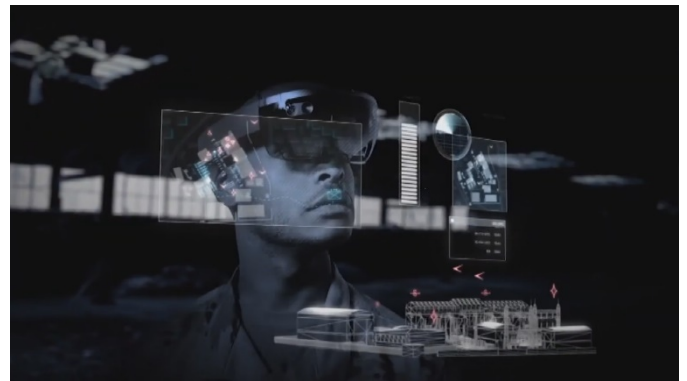
悪魔のランデブー ～AIと軍事 激変する戦争～(仮)

7月4日(日) 午後9:00～9:49 [総合](予定)

私たちの暮らしのあらゆる領域に浸透するAI技術。「2030 未来への分岐点」第5回は、AIによって激変する戦争の姿を描き出す。

AIの軍事利用は、火薬、核兵器に続く、第3の兵器革命といわれ、開発にしのぎを削るアメリカ・ロシア・中国などの軍事大国は、2030年の“実装化”を打ち出している。すでに軍への配備が始まったAI搭載のドローンや戦車に加え、戦争の勝敗を左右する作戦立案や部隊の意思決定など、軍事の中枢にもAIの導入が進められようとしている。

これまで人類は、新しい兵器や戦術が登場する度に、国際条約を結び戦争の拡大を食い止めようとしてきた。自衛目的以外の戦争は“違法”とされ、国際社会が厳しく監視する体制が整えられてきた。しかし、現在、AIの軍事利用を規制するルールはなく、各国が覇権を競い合っているのが実情だ。



映像提供：米軍

国連では、新たなルール作りに向けて、政府代表や専門家による議論が始まったが、規制を求める国と開発を進める国との間の溝は埋まっていない。一方、こうした現状を見かねて、独自に動き始めた若者たちもいる。グーグルの元エンジニアや学生が国際NGOと連携して、世界50か国でロビー活動を開始。「AIが第三次世界大戦の引き金になりかねない」として政治家に直接訴えかけるなど、実戦配備の前の禁止条約の策定を呼びかけているのだ。

AIの軍事利用は、戦争をどう変えるのか。兵器開発の最前線や未来予想のシミュレーションから、AIと軍事の“悪魔のランデブー”が何をもたらすのかに迫る。